	種目	発行者	教科書名
観点	特別の教科 道徳	2・東書	新編 あたらしい どうとく 1 新編 新しい どうとく 2 新編 新しいどうとく 3 新編 新しいどうとく 4 新編 新しい道徳 5 新編 新しい道徳 6
取 扱 内 容	取り上げられている。 第1学年~ 「たのかを 第1学年思ったり、 できうとはできる。 第2学年~ 「のか、 第2学年のではでいたが 第2学になり、 第1で生のの、 第1で生のの、 第1で生のの、 第1で生のでは 第1でに 第1でに 第1でに 第1でに 第1でに 第1でに 第1でに 第1でに	をというでは、 を注述したりで、 におりするにたりで、 を達とするにたりで、 でといするがになります。 をでというでというでというでというでというでというでというでというでというできます。 をでというでというでというでというでというでというでというではないというではないというでは、 というでというできないいいいからいる。 というでというできないいいいのでものできます。 というでというではないいいいのでものできます。 というでというできます。 というでというできます。 というできまます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 といいから、 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 といいから、 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 というできます。 といるできます。 といるできます。 というできます。 といるできまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	「への対応については、次のような学習活動が は、物と同じようにお辞儀をしたり、やってみ は、グループでの話合いや役割演技を通して、 と物になって、挨拶をしてみたり、やってみて がループでの話合いや役割演技を通して、考 がかしての話合いで考えたり、将来の自分 は広げたり、深めたりする活動 、物の悩みについて考えたり、自分が友達関係 ながたり、深めたりする活動 いて、「子ども会の参加者」として、提案について、「子ども会の参加者」として、提案について考えたりするなど、考えを広げたり、にかに必要な心構えについて考えたり、自由 返ったりするなど、考えを広げたり、深めた
内容の構成・排列 使 用	○ 内容の構成・排列(・非列(・小でである) ・ できる	こついては、次のような工夫 は、次自分るの考えを は、各学年にがでかる「考えを こ気付くことを深め、判 がで、考えを学年のようでで、 こつう学習指を提え、「 に は い で が で が で が で は 、 体 い に 、 を 等 的 に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	で可視化し、友達と考えを比べ、多様な感じ方 るためのツール」を配置し、児童が多様な感 、表現する力などを育むことができる工夫 的価値に根差した問題を見付け、多面的・多 して、「問題を見つけて考えよう」を配置 りに発展させていくことへの思いや課題が培 で考えよう(役割演技)」や「やってみて考え 通じて学んだ内容から道徳的価値の意義など
上の配慮等	○ 全ての児童が学習 ザインに配慮する(全 を掲載し、「コンピュ、	しやすいよう、ユニーバーサ 学年)とともに、1人1台端 ータで学びを広げよう」を活	・ルデザインフォントやカラーユニバーサルデ 結末を活用した学習活動として、二次元コード 活用できるようにする(全学年)など、使用上 のある児童への配慮がされている。

	種目		教科書名
	7里口	元11年	
点	特別の教科 道徳	17・教出	しょうがくどうとく1 はばたこうあすへ 小学どうとく2 はばたこう明日へ 小学どうとく3 はばたこう明日へ 小学道徳4 はばたこう明日へ 小学道徳5 はばたこう明日へ 小学道徳6 はばたこう明日へ
			習への対応については、次のような学習活動が
TE.	取り上げられている。 第1学年~ 「こくばんとうばん」において、登場人物の続きの言葉を考えたり、にっこりと笑った役になって演じたりするなど、グループでの話合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動 第2学年~ 「あいさつのしかた」において、登場人物になって、挨拶をしてみたり、やってみてどう思ったのか、友達と話し合ったりするなど、グループでの話合いや役割演技を通して、		
取	考えを広げたり、深る		
扱	れる新聞を作るための	の解決方法を話し合ったり	点について考え、発表したり、みんなから喜ばするなど、考えを広げたり、深めたりする活動
内	* ' '	- '	スの問題点について考え、発表したり、自分が たりするなど、考えを広げたり、深めたりする
容	店期 第5学年~ 「図書館はだれのもの」において、自分が「わたし」だったら、どうするのかにつ いて話し合ったり、身のまわりにあるきまりは、何のために作られているのかを考えたりする		
	など、考えを広げたり、深めたりする活動 第6学年~ 「○○しながら」において、複数のことを同時にやって失敗した際の問題点につい て考えたり、事例の共通点、異なる点、問題の重さについて話し合ったりするなど、考えを広 げたり、深めたりする活動 ○いじめに関する教材数		
	1年4 2年4 3年6 4年2 5年4 6年5 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。		
内容の構成・排列	 ・言語活動についてに 「学習のてびき」に する中で、考えを注 ・問題解決的な学習に ら課題の解決方法に 値を捉え、自分な ・体験的な学習についる「やってみよう」などについて考えを ・北海道に関する題 	は、各学年に、児童が話してこ「考えよう」「深めよう」 でめ、判断し、表現する力ででいては、各学年に、児童を見いだすための「学習のでいるとへいては、各学年に、演じたいでは、各学年に、演じたけを配置し、体験的行為やでを配置し、体験の行為やでを深めるような工夫がは、4年生以上に複数取り	合ったり、自分の考えをまとめたりするためを配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接などを育むことができる工夫童が自ら課題を見つけ、友達と議論を重ねながてびき」を配置し、自分との関わりで道徳的価の思いや課題が培われるような工夫り、話し合ったりしながら自分の考えを発表す舌動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義
使			見通しをもって学習に取り組める「学びのガ
用	=		ェック」欄を配置し、自らの道徳性に係る成長 など、児童の学習意欲を高める工夫がなされて
上	_ ~	ではこんな学び方をするよ」	や教材での学びをさらに深め充実させる「タ
0		そう」を配置し、児童が主任	本的に学習に取り組むことができるような工夫
配	がなされている。 ○ 全ての児童が学習	しやすいよう、ユニーバー	サルデザインフォントやカラーユニバーサルデ
慮			端末を活用した学習活動として、二次元コード
等	∥を掲載し、「まなびリ∑ ∥いる。	ンク」を估用できるように゛	する(全学年)など、使用上の便宜が図られて
そ の 他			

		調査研究	結 果
	種目	発行者	教科書名
観 点	特別の教科 道徳	38・光村	どうとく1 きみがいちばんひかるとき どうとく2 きみがいちばんひかるとき どうとく3 きみがいちばんひかるとき 道徳4 きみがいちばんひかるとき 道徳5 きみがいちばんひかるとき 道徳6 きみがいちばんひかるとき
取 扱 内 容	取り上げにという。 ままま ままる で の の の の の の の の の の の の の の の の の の	のことり」において、小鳥の、思ったことを話したりする活動いて、かかをしたりがあれたりがあいたりがあるとがあり、おかでもん」にしいていたらかではおかではない。とこのようないというないというないというないというないというないというないというないと	への対応については、次のような学習活動が の話したことを考えたり、演じたり、演じているなど、グループでの話合いや役割演技を通して、考えを広っての話合いや役割演技を通して、考えを広いることを理由と一緒に伝えたり、考えを広い、なおとの質問に、どう答えるかを考えたが、なとを話し合ったりするなど、考えを広げてり、とのようなところか、り、ものようなと、が、ままで、で、登場人物の言い分を整理したり、相手と理いを考えたりするなど、考えを広げたり、課話し合ったりするなど、考えを広げたり、評を記る人と、謝られる人を交代して、言葉をかまるした。
内容の構成・排列	・言語活動については 徳で使う言葉」「考」 で、考えを深め、判 ・問題解決的な学習は 解決するためにはどの関わりで道徳的価値な工夫 ・体験的な学習につい ことをよく聞いて、 容から道徳的価値のだ ・北海道に関する題	えよう・話し合おう」を配置 断し、表現する力などを育む については、各学年に、学ん うすればよいかを考えたりす 値を捉え、自分なりに発展さ いては、各学年に、演じてい 考える「演じて考えよう」を 意義などについて考えを深め 対は、4年生以上に一つ以上	を引き出し深めていくさまざまな手立て「道 置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中 のことができる工夫 しだことを自分に引き寄せて考えたり、問題を つるための「学習のてびき」を配置し、自分と させていくことへの思いや課題が培われるよう いる人の表情やしぐさをよく見て、言っている と配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内 のるような工夫 いっされている。
使用上の配	ちあんない」や巻末に、 道徳性に係る成長を実り る工夫がなされている。 〇 各学年に、楽しみ 通して何を学ぶかを意言 ことができるような工	、1時間ごとの振り返りを記 感したり、新たな課題や目標 ながら考えることができるよ 識できるよう「学びのテーマ 夫がなされている。	E間の学習を見通すことができるよう「道徳み 記録する折込「学びの記録」を配置し、自らの 源をもったりするなど、児童の学習意欲を高め こう「なんだろう」なんだろう」や、 教材を マ」を配置し、児童が主体的に学習に取り組む ・ルデザインフォントやカラーユニバーサルデ
慮 等	ザインに配慮する(全	学年)とともに、1人1台端	端末を活用した学習活動として、二次元コード にする(全学年)など、使用上の便宜が図られ

	** H	-10. / Lo	#/ <1 + L
	種目	発行者	
観点	特別の教科 道徳	116・日文	しょうがくどうとく いきるちから 1、ど うとくノート 小学どうとく生きる力 2、どうとくノート 小学どうとく生きる力 3、どうとくノート 小学道徳 生きる力 4、道徳ノート 小学道徳 生きる力 5、道徳ノート 小学道徳 生きる力 6、道徳ノート
			への対応については、次のような学習活動が
取扱	たり、挨拶をすると 通して、考えを広げ、 第2学年~ 「あぶない 人に車に乗るように て、考えを広げたり、 第3学年~ 「これ、	つのあるいちにち」において きと、しないときを演じたり たり、深めたりする活動 いよ」において、自分の安全 言われた場面を演じたりする 、深めたりする活動 全部東京産」において、東京	(、互いに挨拶をするときの気持ちを話し合っするなど、グループでの話合いや役割演技を のために心掛けることを考えたり、知らないなど、グループでの話合いや役割演技を通し の味を守り続けている店員の思いを考えた を調べたりするなど、考えを広げたり、深め
Н-	たりする活動		分の長所を伸ばすために取り組むことを考え
内	たり、自分のよさを	友達や家族に聞いたりするな	ど、考えを広げたり、深めたりする活動
容	第5学年~ 「マンガ家 手塚 治虫」において、手塚さんがマンガ家を続けられた思いを考えたり、自分のよさを伸ばすために大切にすることを考えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第6学年~ 「わたしのせいじゃない」において、いじめを断ち切るための心のもち方を考えたり、いじめを止めるために、誰に話しかけるべきかを話し合ったりするなど、考えを広げた		
	り、深めたりする活動 ○いじめに関する教材数 1年14 2年14 3年16 4年16 5年14 6年18		
内容の構成・排列	 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・言語活動については、各学年に、児童が協働的な学びを進めるための「話す」、「聞く」、「書く」などの学習方法を紹介する「道徳の学び方」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫・問題解決的な学習については、各学年に、問題をつかむ活動や考える活動を促す発問など、児童の思考と対話を促した上で学習の参考となる「ぐっと深める」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるような工夫・体験的な学習については、各学年に、役割演技や動作化を通して思考を深める「ぐっと深める」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫。・北海道に関する題材は、2年生以上に6つ示されている。 		
使			での育成につなげる「オリエンテーション」や ページ」を配置し、自らの道徳性に係る成長
用	を実感したり、新たな		ど、児童の学習意欲を高める工夫がなされて
上		· • · · · ·	ペンチ」や「導入の発問例」、「考えてみよ
Ø	う」、「見つめよう・2 ができるような工夫が		:配置し、児童が主体的に学習に取り組むこと
配	○ 全ての児童が学習	しやすいよう、カラーユニバ	バーサルデザインや漢字の振り仮名に配慮する
憲		舌用できるようにする (全学	活動として、二次元コードを掲載し、「教科 (本年) など、使用上の便宜が図られている。

小学 どうとく ゆたかな こころ 2年				
本学 とうとく ゆたかな こころ 2年		種目	発行者	教科書名
取り上げられている。 第1字年~ 「あいさつでげんきに」において、友だちと気持ちをこめた挨拶の練習をしたり、一言付け加えた挨拶をしたりするなど、グループでの話合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動 第2字年~ 「あいさつがきらいな王様」において、会話例を真似したり、合い言葉を意識したり、深めたりするなど、グループでの話合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動 第3字年~ 「ドンマイ! ドンマイ!」において、日直の仕事を忘れた友だちへ伝える言葉を考えたり、相手の気持ちを考えた言葉を伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第4字年~ 「貝がら」において、サッカーの試合で負けた原因について友だちへ伝える言葉を考えたり、相手の気持ちを考えた言葉を伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第5字年~ 「みんなの劇」において、友だちから遊びに誘われたときの断り方について考えがり、相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えたりするなど考えを広げたり、深めたりする活動 第6字年~ 「温かいおまんじゅう」において、友だちから宿題を見せてと頼まれたときの断り方について考えたり、相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりす方について考えたり、相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えたりするなど、考えを広がたり、深めたりする活動 (いじめに関する教材数 1年7 2年5 3年9 4年6 5年7 6年2 〇 内容の構成・非列については、後のようなようかなようなを配置し、児童が多様が感じ方や考え方に接する中で考えを深め、判断し、表現する力とを配置し、自分との関係はを指示していては、各学年に、一部を動む方とり、あるごとから、海底が会が行う「みんなでやってみよう!」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から後的価値を提え、自分なりするなりまでといてまくを深めるような工夫・北海道に関する教材は3年生以上に6題材に示されている。 〇 各学年に、「年間の道徳の学習を扱りをとともに、次の学年に向けてのエールとなよ、北海道に関する教材は3年生以上に6題材に示されている。〇 各学年に、「道徳の時間は、こんな時間です」や考えを広めたり、深めたりする「考えよく展開」」「まとめよう(終末)」を配置し、児童が主体的に学習に取り組むことができるよな工夫がなされている。〇 全での児童が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインや漢字に振り仮名を付けるなどの種値をする(全学年)とともに、人自台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載を集まれている。〇 全ての児童が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインや漢字に振り仮名を付けるなどの種値をする(全学年)とともに、人自は端を活用した学習活動として、二次元コードを掲載を集まれている。		特別の教科 道徳	208・光文	小学どうとく ゆたかな心 3年 小学道徳 ゆたかな心 4年 小学道徳 ゆたかな心 5年
第1学年~「あいさつでげんきに」において、友だちと気持ちをこめた挨拶の練習をしたり、一言付け加えた挨拶をしたりするなど、グループでの語合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたり、表めたりする活動 第2学年~ 「あいさつがきらいな王様」において、会話例を真似したり、合い言葉を意識して お3学年~ 「あいさつがきらいな王様」において、日直の仕事を忘れた友だらへ伝える言葉を元る活動 第3学年~ 「ドンマイ! ドンマイ!」において、日直の仕事を忘れた友だらへ伝える言葉をえたり、相手の気持ちを考えた言葉を伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第4学年~ 「ドンマイ! ドンマイ!」において、日直の仕事を忘れた友だらへ伝える言葉をえたり、相手の気持ちを考えた言葉を伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第5学年~ 「みんなの劇」において、女だちから遊びに誘われたときの断り方について考えがり、相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えたりするなど考えを広げたり、深めたりする活動 第6学年~ 「温かいおまんじゅう」において、友だちから宿題を見せてと頼まれたときの斯方について考えたり、相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 ○いじめに関する教材を 1年7 2年5 3年9 4年6 5年7 6年2 ○ 内容の構成・排列については、各学年に、まいてまとめることによって理解を深めたり、整理したけずるための道徳のノートの例として「まとめよう・多力がを管むことができる状態に方や考え方に接てすっては、各学年に、他者の見方・考え方を確かめたり、ものごをを育め、参判的に考えたりするための「話し合って考えてみよう」を配置し、見金が寄われるようなより、体験的な学習については、各学年に、他者の見方、考え力を確かめる手立てといて、各学年に、1年間の道徳の学習を握り返るとともに、次の学年に向けてのエールとなるより、本に海道に関する教材は3年年以上に6題材に示されている。 ○ 全学年に、1年間の道徳の学習を握り返るともに、次の学年に向けてのエールとなるよので学での足あたとと記録の時間は、こんな時間では、そんな時に学習に取り組むことができるよれてよがなされている。 ○ 全での児童が学者と考え、4年前に中で学とをは、1月1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載 むたりできるよった 2年70 (全学年) とともに、1月1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載 し、デジタルコンテンツを活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。 ○ 全での児童が学者しやすいよう、ユニバーサルデザインや漢字に振り仮名を付けるなどの意慮をする(全学年)とともに、1月1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載 し、デジタルコンテンツを活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。 6 できりの足が関するに全学年)とともに、1月1日端末を行用した学習活動として、「次元コードを掲載 ないまがなされている。 ○ 全の児童が学とからなど、現まがなられている。 ○ 全の児童が学とからなど、現まがなられている。 2 全の兄弟に対している。 2 全の子に、「はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない				望への対応については、次のような学習活動が
第3学年~ 「ドンマイ!ドンマイ!」において、目直の仕事を忘れた友だちへ伝える言葉をえたり、相手の気持ちを考えた言葉を伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動第4学年~ 「貝がら」において、サッカーの試合で負けた原因について友だちへ伝える言葉、考えたり、相手の気持ちを考えた言葉を伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第5学年~ 「みんなの劇」において、友だちから遊びに誘われたときの断り方について考えがり、相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えたりするなど考えを広げたり、深めたりする活動 第6学年~ 「温かいおまんじゅう」において、友だちから宿題を見せてと頼まれたときの断り方について考えたり、相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 ○いじめに関する教材数 1年72年53年94年65年76年2 ○ 内容の構成・排列については、太のような工夫がなされている。・言語活動については、各学年に、大のような工夫がなされている。・言語活動については、各学年に、他者の見方・考え方を確めたり、整理したりするための道徳のノートの例として「まとめよう・ふりかえろう」を配置し、児童が多様が感じ方や考え方に接する中で考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるこま・・ 問題解決的な学習については、各学年に、他者の見方・考え方を確めるための体験的な学面を関めていては、各学年に、の書からで道徳的価値を提え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるような工・・ 体験的な学習については、各学年に、コミュニケーションスキルを高めるための体験的な対動を行う「みんなでやってみよう!」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から徳 的価値の意義などについて考えを深めるような工夫・北海道に関する教材は3年生以上に6週材に示されている。 ○ 各学年に、1年間の道徳の学習を振り返るとともに、次の学年に向けてのエールとなるよっな贈る言葉「ことばのたかもの」や巻末に児童が自るの学習状況を確かめる手立てとしての「学びの足あなど、児童の学者のを育まを表記している。 ○ 各学年に、「道徳の時間は、こんな時間です」や考えを広めたり、深めたりする「考えよ・(展開)」「まとめよう(終末)」を配置し、児童が主体的に学習に取り組むことができるよっな工夫がなされている。 ○ 全での児童が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインや漢字に振り仮名を付けるなどの影響をする(全学年)とともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載を等		第1学年~ 「あいさ 一言付け加えた挨拶 たり、深めたりする 第2学年~ 「あいさ	っつでげんきに」において、2 をしたりするなど、グルー2 活動 つがきらいな王様」におい ²	プでの話合いや役割演技を通して、考えを広げ て、会話例を真似したり、合い言葉を意識して
及 えたり、相手の気持ちを考えた言葉を伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動第4学年~ 「貝がら」において、サッカーの試合で負けた原因について友だちへ伝える言葉と考えたり、相手の気持ちを考えた言葉を伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第5学年~ 「みんなの劇」において、友だちから遊びに誘われたときの断り方について考えたり、相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えたりするなど考えを広げたり、深めたりする活動 第6学年~ 「温かいおまんじゅう」において、友だちから宿題を見せてと頼まれたときの断り方について考えたり、相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 ○いじめに関する教材数 1年72年53年94年65年76年2 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。・言語活動については、各学年に、書いてまとめることによって理解を深めたり、整理したするための道徳のノートの例として「まとめよう・ふりかえろう」を配置し、風童が多様、感じ方や考え方に接する中で考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工きで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるような工き、体験的な学習については、各学年に、コミュニケーションスキルを高めるための体験のなごもの価値の意義などについてみよう! を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から徳 的価値の意義などについてみよう! を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から徳 的価値の意義などについて考えを深めるような工夫・北海道に関する教材は3年生以上に6題材に示されている。 ○ 各学年に、1年間の道徳の学習を振り返るとともに、次の学年に向けてのエールとなるよっな贈る言葉「ことばのたからもの」や巻末に児童が自らの学習が見を確かめる手立てとしての「学びの足あと」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもつがりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされ学習の流れをつかみやすくなっている。 ○ 各学年に、「道徳の時間は、こんな時間です」や考えを広めたり、深めたりする「考えよて、「現職の時間は、こんな時間です」や考えを広めたり、深めたりする「考えよて、「現職の時間は、こんな時間です」や考えを広めたり、深めたりする「考えよっている」 ○ 全での児童が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインや漢字に振り仮名を付けるなどので慮をする(全学年)とともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、デジタルコンテンツを活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。そ	取	,		
第 4 学年~ 「貝がら」において、サッカーの試合で負けた原因について友だちへ伝える言葉。 考えたり、相手の気持ちを考えた言葉を伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりするが 動 第 5 学年~ 「みんなの劇」において、友だちから遊びに誘われたときの断り方について考えがり、相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えたりするなど考えを広げたり、深めたりする活動 第 6 学年~ 「温かいおまんじゅう」において、友だちから宿題を見せてと頼まれたときの断り方について考えたり、相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動			= :	
第5学年~ 「みんなの劇」において、友だちから遊びに誘われたときの断り方について考えだり、相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えたりするなど考えを広げたり、深めたりする活動 第66学年~ 「温かいおまんじゅう」において、友だちから宿題を見せてと頼まれたときの断方について考えたり、相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えたりするなど、考えを広にたり、深めたりする活動 ○いじめに関する教材数 1年7 2年5 3年9 4年6 5年7 6年2 ○ 内容の構成・排列については、後のような工夫がなされている。 ・言語活動については、各学年に、書いてまとめることによって理解を深めたり、整理したりするための道徳のノートの例として「まとめよう・ふりかえろう」を配置し、児童が書稼が感じ方や考え方に接する中で考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるエジ・問題解決的な学習については、各学年に、他者の見方・考え方を確かめたり、ものごとを実面的・多角的に考えたりするための「話し合って考えてみよう」を配置し、自分との関われて道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるような工き、体験的な学習については、各学年に、コミュニケーションスキルを高めるための体験的な行動を行う「みんなでやってみよう!」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から後の価値の意義などについて考えを深めるような工夫・北海道に関する教材は3年生以上に6題材に示されている。 ●学年に、1年間の道徳の学習を振り返るとともに、次の学年に向けてのエールとなるよっな贈る言葉「ことばのたからもの」や巻末に児童が自らの学習状況を確確かめる手立てとしての「学びの足あと」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童の学習を振り返るとともに、次の学年に向けてのエールとなるよっないまなど、児童の学習を振り返るとともに、次の学年に向けてのエールとなるよっなど、児童の学習を振り返るとともに、次の学年に向けてのエールとなる。「全学年に、「道徳の時間は、こんな時間です」や考えを広めたり、深めたりする「考えよく展開)」「まとめよう(終末)」を配置し、児童が主体的に学習に取り組むことができるよっな工夫がなされている。 ○ 全での児童が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインや漢字に振り仮名を付けるなどの意慮をする(全学年)とともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、デジタルコンテンツを活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。	内	第4学年~ 「貝がら 考えたり、相手の気	」において、サッカーの試合	合で負けた原因について友だちへ伝える言葉を
第6学年~ 「温かいおまんじゅう」において、友だちから宿題を見せてと頼まれたときの断り方について考えたり、相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えたりするなど、考えを広にたり、深めたりする活動 ○いじめに関する教材数 1年7 2年5 3年9 4年6 5年7 6年2 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・言語活動については、各学年に、書いてまとめることによって理解を深めたり、整理したりするための道徳のノートの例として「まとめよう・ふりかえろう」を配置し、児童が多様が感じ方や考え方に接する中で考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工芸値的・多角的に考えたりするための「話し合って考えてみよう」を配置し、自分との関わらで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるような工芸・体験的な学習については、各学年に、コミュニケーションスキルを高めるための体験的など動を行う「みんなでやってみよう!」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から徳の価値の意義などについて考えを深めるような工夫・北海道に関する教材は3年生以上に6題材に示されている。 ○ 各学年に、1年間の道徳の学習を振り返るとともに、次の学年に向けてのエールとなるような理会に関するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされ学習の流れをつかみやすくなっている。 ○ 各学年に、「道徳の時間は、こんな時間です」や考えを広めたり、深めたりする「考えよいのと、とを学年に、「道徳の時間は、こんな時間です」や考えを広めたり、深めたりする「考えよいなまれている。 ○ 全での児童が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインや漢字に振り仮名を付けるなどの影慮をする(全学年)とともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、デジタルコンテンツを活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。	容	第5学年~ 「みんな り、相手の気持ちを	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
・言語活動については、各学年に、書いてまとめることによって理解を深めたり、整理したしてるための道徳のノートの例として「まとめよう・ふりかえろう」を配置し、児童が多様が感じ方や考え方に接する中で考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工芸・問題解決的な学習については、各学年に、他者の見方・考え方を確かめたり、ものごとを活面的・多角的に考えたりするための「話し合って考えてみよう」を配置し、自分との関われて道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるような工芸・体験的な学習については、各学年に、コミュニケーションスキルを高めるための体験的な活動を行う「みんなでやってみよう!」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫・北海道に関する教材は3年生以上に6題材に示されている。		第6学年~ 「温かい」 方について考えたり たり、深めたりする。 ○いじめに関する教材	、相手の気持ちを考えながり 活動 数	
な贈る言葉「ことばのたからもの」や巻末に児童が自らの学習状況を確かめる手立てとしての「学びの足あと」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされ学習の流れをつかみやすくなっている。○ 各学年に、「道徳の時間は、こんな時間です」や考えを広めたり、深めたりする「考えよりの「展開」」「まとめよう(終末)」を配置し、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。○ 全ての児童が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインや漢字に振り仮名を付けるなどので慮をする(全学年)とともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、デジタルコンテンツを活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。	容の構成・排	・言語活動についてするための道徳の感じ方や考え方に・問題解決的な学習面的・多角的に考で道徳的価値を捉・体験的な学習につ動を行う「みんな徳」的価値の意義	は、各学年に、書いてまとめ、ノートの例として「まとめ。接する中で考えを深め、判践については、各学年に、他えたりするための「話し合っえ、自分なりに発展させていれ、各学年に、コミュニでやってみよう!」を配置しなどについて考えを深める。	めることによって理解を深めたり、整理したりよう・ふりかえろう」を配置し、児童が多様な断し、表現する力などを育むことができる工夫者の見方・考え方を確かめたり、ものごとを多って考えてみよう」を配置し、自分との関わりいくことへの思いや課題が培われるような工夫ニケーションスキルを高めるための体験的な活、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道ような工夫
## お贈る言葉「ことばのたからもの」や巻末に児童が自らの学習状況を確かめる手立てとしての「学びの足あと」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされ学習の流れをつかみやすくなっている。 ② 各学年に、「道徳の時間は、こんな時間です」や考えを広めたり、深めたりする「考えようで、(展開)」「まとめよう(終末)」を配置し、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ② 全ての児童が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインや漢字に振り仮名を付けるなどの関慮をする(全学年)とともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、デジタルコンテンツを活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。	使	○ 各学年に、1年間	の道徳の学習を振り返るとる	ともに、次の学年に向けてのエールとなるよう
上 りするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされ学習の流れをつかみやすくなっている。 ○ 各学年に、「道徳の時間は、こんな時間です」や考えを広めたり、深めたりする「考えよって、		- / / - / - / - / - / - / - / - / - / -		
の (展開)」「まとめよう(終末)」を配置し、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。		りするなど、児童の学	習意欲を高める工夫がなされ	1学習の流れをつかみやすくなっている。
配				
虚をする(全学年)とともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、デジタルコンテンツを活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。 そ		な工夫がなされている。)	
し、デジタルコンテンツを活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。そ				
さ。 さ。 そ		し、デジタルコンテン		
他	その	<u>්</u> වං		

	種目	発行者	教科書名
観点	特別の教科 道徳	224・学研	新版 みんなのどうとく1 新版 みんなのどうとく2 新版 みんなのどうとく3 新版 みんなの道徳4 新版 みんなの道徳5 新版 みんなの道徳6
	○ 主体的・対話的で	 深い学びの実現に資する学習	への対応については、次のような学習活動が
		。 の ぎんのおの」において、	話の続きを考えたり、登場人物同士が話す場 割演技を通して、考えを広げたり、深めたり
	第2学年~ 「およげ	=	場人物になって、問題を相談する場面を演じ ったりするなど、グループでの話合いや役割
取		を広げたり、深めたりする活 の学級会」において、出され	:動 た意見のよさについて考えたり、異なる意見
扱		いをまとめるために大切にす	ることを話し合ったりするなど、考えを広げ
			て、登場人物の気持ちになって考えたり、自 表したりするなど、考えを広げたり、深めた
内	りする活動		
容	めに大切なことを考	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	、自分の長所を見つけたり伸ばしたりするた ったり、そこから考えたことを書いたりする
	第6学年~ 「チョモ	ランマ清掃登山隊」において	、自然と共存するために、どんなことを大切
	にしたいか考えて書いたり、書いたものを読み合い、感じたことを話し合ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動		
	○いじめに関する教材 1年13 2年8 3年	数9 4年8 5年8 6年7	
内容の構成・排列	・言語活動については めるきっかけとなる 中で、考えを深め、 ・問題解決的な学習 した学習の流れを提 なりに発展させてい ・体験的な学習につ	問いとして「考えよう」を配 判断し、表現する力などを育 については、各学年に、児童 案する「深めよう」を配置し くことへの思いや課題が培む いては、各学年に、自分につ し、体験的行為や活動を通じ	意見や感想を記録できる記入欄や、考えを深 2置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する むことができる工夫 が思考を整理するための三つのステップを通 、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分

・北海道に関わりのある内容については、1年生から6年生まで各学年に配置されている。

使	○ 各学年に、自分を取り巻く社会へ意識を向けながら、自分自身とのつながりを探る「つなが
用用	るわたし ひろがるわたし」や巻末に1年間の学びや自らの成長を振り返る「つなげよう ひろ
/13	げよう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするな
上	ど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。
	┃○ 各学年に、「道徳の学習がはじまるよ」や児童が自分の考えを深めるきっかけになるマーク ┃
0	ボックスを配置し、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。
一配	○ 全ての児童が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザ
	インに配慮する(全学年)とともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを
慮	掲載し、デジタルコンテンツを活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られて
k-k-	19数し、アンフルニンアンフを招加できるようにする (至子子) など、反加工の反乱が囚り40で いる。
等	' ' ' う 。
そ	
\mathcal{O}	
他	